



安原の
いま

総人口 4,469人 (前年比-38人) 【男 2,157人 女 2,312人】
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701

安原町公民館完成!

～1月18日に竣工式～



「安原町公民館」の文字は古い建物から外して取付

老朽化が進んでいた安原町公民館の解体・新築工事が完了し、1月18日に竣工式が執り行われました。

古い公民館は昭和27年の建築で、20年ほど前から町会内では建て替えの考えが生まれ、平成27年には2年がかりで町会の法人化を完了し、一昨年より40回にわたって建設委員会で検討を進め、昨年5月に解体工事が始まりました。

道路側に4台分の駐車スペース、入口にはスロープと掲示板を設け、金網製のごみステーションも設置。掲示板はコンパクトですが、館での催し物案内を掲示する予定です。平屋の建物内は水回りを玄関付近に集中させ、広い多目的室を設けました。屋根と壁面はガリバリウム鋼板を

使用し、南面は大きな窓が広がり開放的で日当たり良好です。建物の奥にはいずれ防災倉庫を設置する計画でスペースを確保しています。

町会の積立金と市からの補助金を活用し、建築費2200万円で総床面積約68平方メートルの公民館が完成しました。保科守宏町会長兼公民館長は「これからの運営が一番大切。高齢化の進んだ町会でいかに活用していくのか企画する体制を整えたい」と話していました。



倒れたピンの位置どおりに並べます

安原地区福祉ひろばで、毎月第一金曜日の午後1時半からモルックを楽しんでいます。

フィンランド発祥の伝統的なゲームを元に開発されたスポーツ・モルック。小さな薪のような棒を投げて、数字の書かれた木製のピンを倒すボウリングに似たゲームです。

昨年の4月に松本市健康づくり課主催の体力づくりサポーター集会で体験したことをきっかけに、このゲームのおもしろさに惹かれた人が多く、8月から福祉ひろばで毎月開催されています。ルールも簡単で体力よりも集中力

わいわい
「モルック」



や技術力で競うので、初心者や高齢者でもすぐに楽しめます。また、投げる棒がまっすぐに転がらないのでミラクルが生まれやすいのも魅力の一つでしょう。

今ではチームが3つできるほど参加者も増え、あいているチームが審判をしてルールを覚えていきます。時には信州大学のサークル「まつぼっくり」の学生達も加わって、狙ったところに飛ばす棒の投げ方や、相手チームに有利なコマを散らす技なども教わります。ゲーム終了後のお茶会では学生たちを囲んで盛り上がりしています。文字通りわいわい楽しんでいます。

興味を持った方はぜひご参加ください。



おしくも狙ったピンの間を転がる棒…

【防災特集】 防災マップ の活用を

松本市
ハザードマップ

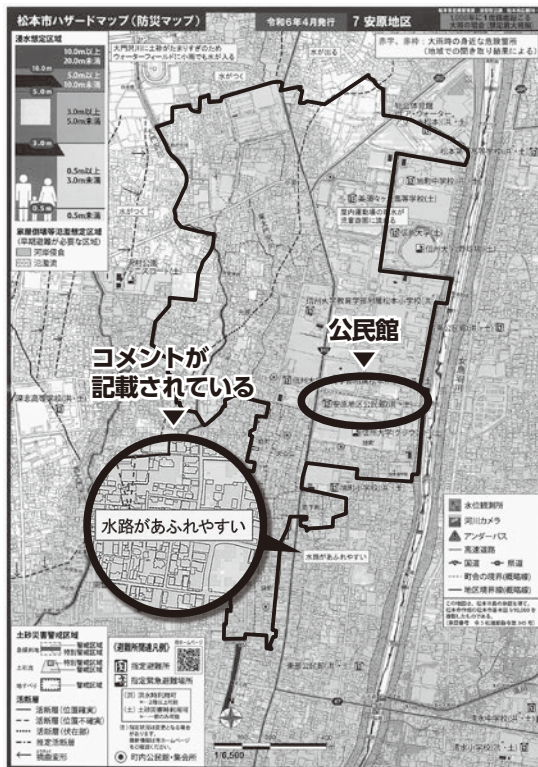


令和6年4月に松本市ハザードマップ(防災マップ)が改定され、各家庭に配布されています。

防災マップは全部で3種類。うち2種類は『もしどこかで大雨による河川氾濫が発生したら?』というシミュレーションに基づき、百年に一度または千年に一度の大雨で河川が氾濫した場合に起こりうる浸水想定を表示したものです。マップは地区ごとに分かれており、各家庭・町会が判別しやすくなっています。また、過去の大雨で起きた出来事もコメントとして記載されています。

もう1種類は日頃の備えに関する情報のまとめで、警戒レベルに応じた避難行動や備蓄品・非常持出品等の一覧が両面に記載されています。

千年に一度の大雨による浸水被害想定マップ
(令和元年東日本台風で被害が発生した一部の大雨に相当)



安原地区の水害想定は?

主に西大門沢川、大門沢川、東大門沢川及び女鳥羽川の計4つの河川からの氾濫が想定

松本市ハザードマップ(防災マップ)

もしもの災害に備え、このハザードマップを活用し、自宅周辺の危険な場所や避難する場所、避難ルート、避難場所の位置、避難経路などを事前に把握しておくことが大切です。

①松本市 危機管理課 消防防災課 TEL:0263-34-5000 FAX:0263-34-5001

松本市ハザードマップ(防災マップ)の活用

Step.1 マップで自分の家の位置を確認しましょう

Step.2 マップに示された、避難先を確認しましょう

Step.3 避難ルートを確認しましょう

Step.4 安全・速く避難する方法を理解しておきましょう

Step.5 情報を収集しましょう

警戒レベルによる避難行動

Step.4 避難行動の目安

分散避難

Step.2~3

Step.4 ハザードマップを参考に避難行動の目安を把握しよう

Step.5 情報の集め方・非常時連絡先

松本安心ネット(メール配信サービス)

防災行政無線・デモモニターサービス

非常時連絡先

0120-07-8686 (全国共通フリーダイヤル)

0263-36-8686 (松本市内)

0263-33-1191 (松本市内)

0263-33-1011 (松本市内)



人目を引く青色の花が魅力

いちよう並木

地植え「デルフィニウム」の育て方

キンポウゲ科デルフィニウム属の直立性の多年草です。冬期に充分低温で育てると、根張りが良くなりポリウムのある花が咲きます。原産地はヨーロッパ、西アジア、シベリア、北米、イランなど寒い地域の花です。日当たりと水はけの良い土壌

を好み、高温多湿が大嫌いな植物です。地植え・鉢植えにかかわらず乾燥させないように管理してください。特に鉢植えの場合は水切れに注意すること。チッソ肥料が多いと茎葉が弱くなるので特に注意が必要です。花穂や花茎が垂れ下がらないように支柱を立て、倒れ予防の対策をしてください。花壇、切花、生け花と用途の広い花です。ポリウムのある花を咲かせましょう。

日頃の備えを進めよう

防災マップを参考に、自宅や避難所の位置確認や避難方

防災マップが必要な方は消防防災課が安原地区公民館へ

されます。千年に一度の大雨で氾濫が起きた場合、地区内のどこにでも0・5・3・0m未満の浸水が起きる可能性があります。河川や水路に流木や土砂が詰まると想定外の被害が生じることも考えられます。

法・避難経路等、『災害が起きる前にできること』を考えましょう。

松本市公式LINEや松本市安心ネットに登録して緊急情報を入手できるようにしましょう。情報の入手方法も一つに絞らず複数の方法から手に入るようにするのもポイントです。